

## 第4回高知県立学校の校名に関する検討委員会 会議録

### 1 開会及び閉会に関する事項

開会 平成28年7月13日(水) 18:30  
閉会 19:30

### 2 場所

高知共済会館 3階「大ホール 桜」

### 3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員 委員 池 康晴  
委員 池田 あけみ  
委員 稲田 知江子  
委員 川北 恭弘  
委員(会長) 西郷 和彦  
委員(副会長) 時久 恵子  
委員 西尾 洋之

### 4 高知県教育委員会事務局の出席した者の氏名

高知県教育委員会	教育長	田村 壮児
高知県教育委員会事務局	教育次長	北村 強
〃	教育次長	藤中 雄輔
〃	教育次長	永野 隆史
〃	高等学校課課長	高岸 憲二
〃	高等学校課企画監(再編振興室長)	坂本 寿一
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	高等学校課再編振興担当チーフ	松井 竜太
〃	高等学校課主査	久保 義博
〃	高等学校課指導主事	前野 佐希子
〃	高等学校課指導主事	野中 昭良
〃	高等学校課指導主事	清水 宏志

### 5 傍聴

42名

### 6 内容

#### 【開会】

司会	ただ今から「第4回高知県立学校の校名に関する検討委員会」を開催させていただきます。 それでは、本日まで出席いただいております、7名の委員の皆様をご紹介させていただきます。
司会	( 委員紹介 )
司会	委員の皆様、本日はどうぞよろしくお願いたします。 次に、本日の日程について説明させていただきます。次第をご覧ください。 本日は、統合対象校4校の訪問についての報告及び、前回協議いたしました公募の実施方法等についての確認・協議を行っていただくこととなっております。

	<p>次に、配布資料について確認させていただきます。</p> <p>クリップ止めの資料が1部ございます。次第が表紙になった資料で、内容は、次第、委員名簿、設置要綱、第3回検討委員会議事録、資料1、資料2、参考資料1、参考資料2となっております。</p> <p>学校のパンフレットにつきましては、委員の皆様にはカラーのものをお配りしておりますけれども、傍聴の皆様、申し訳ございません、部数の関係で白黒の資料になっておりますので、ご容赦ください。また、別紙といたしまして「本検討委員会の傍聴要領」がございます。</p> <p>不足している資料がございましたら、スタッフまでお知らせください。</p> <p>次に、傍聴に関してのお願いをお伝えいたします。</p> <p>本検討委員会では、受付で配布させていただいた傍聴要領のとおり、私語や拍手など会議の支障となる行為をしないようお願いいたします。協議中にこのような行為があった場合、会長が注意し、なお改めない場合は、申し訳ございませんが退場していただくこととなりますので、あらかじめご承知ください。</p> <p>また、会議中の録音及び撮影についてですが、第1回の会議の際に要望があり、協議の結果、この会議では報道関係者以外の傍聴の方の、録音及び撮影を控えさせていただくこととしておりますので、ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。ここからの進行は、会長にお譲りいたします。よろしくお願いいたします。</p>
--	--

#### 【統合対象校4校の訪問について報告】

<p>会長</p>	<p>それでは、次第に従って会を進行させていきたいと思っております。</p> <p>議事の進行にあたりまして、必要に応じて事務局からの資料説明等を行っていただきながら、次第に従って順次、進めさせていただきます。</p> <p>それでは早速、次第の「(2)統合対象校4校の訪問について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>企画監</p>	<p>資料1の「検討委員会委員による統合対象校訪問時の質疑応答について」、ご説明させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、6月21日に高知南中高校、高知西高校を、それから7月5日に須崎高校、須崎工業高校の4校の訪問を、全委員にご参加いただき実施いたしました。</p> <p>その際には、生徒の授業風景、それから施設を見学していただき、校長先生から学校の沿革、特色のある取組などについて説明をしていただき、最後に、委員と主に校長先生との質疑を行いました。</p> <p>その概要につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>(1)にございます、最初の高知南中高校では、委員からは、「探究型学習と英語教育プログラムについて、PTAや生徒にどのようなピーアールをしているのか」というご質問をいただきました。</p> <p>これに対しまして、「機会をみて、いろいろな場面や広報用パンフレットなどで説明している」という回答がございました。</p>

次に、「統合に向けての取組で、高知西高校との情報交換などの連携は進んでいるか」というご質問がございました。

これにつきましては、「県教育委員会が統合準備会を設置し、教育内容などについて月1回、両校で話し合う機会を持っている」という説明がございました。

次の「統合する中高一貫教育校について、何か感じるところはあるか」というご質問がございました。

これにつきましては、「中高6年間のうち、中3の夏休みから高校に入るまでの中だるみへの対応が課題であり、統合を視野に本校でも対応していきたい」という説明がございました。

次の「高知南の国際科と高知西の英語科の取組を、グローバルの教育内容にどう生かしていくのか」というご質問がございました。

これには、「最終的に両校とも、世界に通用する人材を育てたいという同じ意識でやっていく」といったご説明がございました。

次に、(2)の高知西高等学校では、最初にございます、「国際的な人材を育てる際に、高知西高校の残したい、高知南中高校の取り入れたい取組は」というご質問がございました。

これにつきましては、「IBの導入には、今までの取組だけではハードルが高い。これまで以上に英語だけではなく、他の科目にも力を入れることが必要。また、高知南では、知識構成型ジグソー法に取り組んでおり、思考力、判断力を上げる高知南の取組を取り入れたい」というご説明がございました。

次の「県立中学校での中3の受検がないことの中だるみ問題への対策は」というご質問がございました。

これには、「中学校からの導入を検討している国際バカロレアのMYPは、中学校3年間と、それから高校1年を併せた、4年間の取組となりますので、これをうまく使えば中だるみ対策になると考えており、その仕掛けをしたい」という説明がございました。

次に、「統合後、両校の学校文化の違いをどのように生かしていけばよいと考えるか」というご質問がございました。

これにつきましては、「統合が進む中で、生徒減少の時期、高知南の取組に合わせて、中学生同士の交流ですとか、学校行事などへの協力によって対応していきたい」という説明がございました。

最後の、「統合後に向けて、教職員の指導力向上をどのように図るのか」というご質問に対しましては、「教育センターで活動しているIBチームが、職員会議で勉強会を実施している。また、夏に本県で実施予定の、国際バカロレア機構主催のワークショップを研修会に指定し、参加を予定している」という説明がございました。

次に、(3)の須崎高等学校では、委員からの質問としまして、「普通科と工業科の統合により、これまで以上に幅広い学力や進路希望の生徒に対応するために、新しい手立てや、重要だと思っていることは」というご質問がございました。

これに対しまして、「保護者や生徒に国公立大学進学希望のニーズが多いことから、入学当初からのクラス編成、進学補習、校外模擬試験などの実施を考えている」という説明がございました。

また、「学科改編後の、次の新生生に向けた中学校への説明会での反応は」というご質問に対しては、「学科改編により総合学科から普通科になることで、学校の特色が明確化を図れることにより、中学校からは期待を持って見られている」という説明がございました。

また、「統合に関して、両校に同窓会、PTA、生徒、教員間に違いは感じているか」というご質問に対しましては、「見方や価値観の違いはあるが、去年の10月ごろから話し合っ、お互いに理解しあっている」という説明がございました。

四つ目の、「生徒たちは統合に対して、どう受け止めているか」というご質問に対しまして、「統合完成時には、現在の生徒は卒業しているので、あまり実感はないのではないか」という説明がございました。

最後の、(4)須崎工業高校におきまして、「統合後の普通科と工業科では、教育内容が異なるが、1年生での共通するときの具体的な取組は」というご質問に対しまして、「統合のメリットとして、進学についてはこれまでの須崎高校の、就職についてはこれまでの須崎工業高校のノウハウを活用したい。また、普通科の生徒でも就職希望者には、工業の基礎科目を選択し、資格も取りながら就職に繋げることができるように教育課程を工夫している」という説明がございました。

次の「須崎高校とは全く文化が違うと感じたが、生徒同士の交流は」というご質問に対しまして、「普通科の生徒も造船部や電気工作の実験などを一緒に活動すれば、それを強みに高知工科大学のA0入試を受けるなど、県内にはない学校ができるのでは」というご説明がございました。

一つとばしまして、最後の「学校行事や部活動を両校で一緒に行う計画はあるか」というご質問に対しまして、「現在の1年生は、合同の行事などを秋から検討し、来年の1年生はさらに広げていきたい」という説明がございました。

以上、質疑の概要をご報告させていただきます。

会長

質疑応答の時間も結構取ってお話を聞いていたらと思いますので、今回は事務局と私の方で、その中のいくつかをピックアップして、まとめさせていただいておりますが、せっかくですので、委員の皆さんの、これに加える、あるいはこれを補強するようなご意見・ご感想があればお聞かせいただきたいと思います。

委員

感想になりますが、結論から申し上げますと、訪問をさせていただいて本当によかったなというのが、率直な実感です。

それぞれの学校の特色、良さというのが改めてよく分かりましたし、先生方の、やはり教育に対する思いというようなものを強く感じました。

また、統合に関しては、どの学校もそうだと思いますが、相手校の良さを積極的に取り入れようという、前向きな思いをお持ちでいらっしゃるということ。

そういう意味では、新しい統合校というのは、非常に期待が持てる、県民の皆様にも理解をしていただける学校になるのかなと思いました。

私どもも、そういう4校のそれぞれの取組・実績、先生方の

	<p>思いなどを踏まえながら、校名を検討していかなければいけないなと思いました。</p> <p>4校の管理職の先生方、それから教職員の方々には、本当に忙しい中、詳しく説明もしていただいたし、それから授業等も教室の中にまで入って見せていただくということで、本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>高知市内の2校については、やはり生徒数が多いということで、教室の中はいっぱいですけれども、本当に集中して勉学に励んでいるなという感じを受けました。</p> <p>また、廊下ですれ違う時に、きちんと挨拶を両校ともしてくださいるので、すごく気持ちがいいし、学校の明るいイメージを受けました。</p> <p>それから、高知南中学・高等学校では、中学校の授業を見せていただきました。やはり、中学生の興味・関心や、それから学習の到達目標が違う部分もあって、やはり教授法、あるいは指導法は違ってくるのだなという感じを強く、改めて受けたという印象があります。やはり発達段階に応じた指導法が、必要なのだと感じました。</p> <p>それで、新しくできる統合校は、高校の先生ばかりなので、ぜひ中学校の部分の準備をしっかりといただいて、いい中学校・高等学校にしていきたいなというのを、改めて実感したところです。</p> <p>それから、須崎の2校については、少人数で非常に丁寧な授業展開をしていただいていたし、先ほど委員からもあったように、それぞれの良い面をお互いに生かし合おうという気持ちや、教職員の方からも伺われましたので、すごく期待が持てたイメージがあります。</p> <p>特に、生徒数が増える数の力によって、部活動なども活性化したり、学校行事が良くなったり、あるいは、この中にもあるように、進路などもお互いの良い面を生かして、新たな改革ができるのではないかと。1+1が2ではなくて、3、4になっていくような統合校ができそうだという感想を受けました。</p> <p>本当に勉強になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>本当に両校の先生方、ありがとうございました。行かせていただいて、本当によかったと思いました。</p> <p>4校とも見せていただいた時に、今、高知県が非常に力を入れている学力向上やキャリア教育について、各校が大変努力をして、本当に充実した取組にしようとしているということは、1校1校それぞれ見えました。</p> <p>皆さん一緒だと思うのですが、とてもうれしいと思ったのは、統合校ができていくという中で、両方の学校の良いところを入れ、しかも新しい発想を入れて、高知県にこんなに素晴らしい特色のある、とてもすごい学校ができると感じました。</p> <p>それが、南と西もそうだし、須崎と須崎工業も良さを入れるだけでなく、新しい発想があって、本当に新しい、高知県に今までなかった学校になるという、そこが実感として見えたところが大変うれしく思いました。</p> <p>それで、この検討委員会は校名の検討ということで、校名について考えていますが、それぞれの学校の先生方とか保護者と</p>

	<p>か、いろんな機関の方が話し合いを続けられながら、統合していくその中身について、一つ一つ丁寧に検討されているというところも、非常によく分かりました。</p> <p>ですから、統合校それぞれが、本当に素晴らしい学校になっていくという、そういう期待感が、本当に持てて楽しみになってきたところですよ。ありがとうございました。</p> <p>4校の校長先生をはじめ、教職員の先生、皆さん、本当にありがとうございました。</p> <p>私は、4校とも訪問させていただきまして、まず、南中高校、西高校の訪問ですが、やはり中学校から高校生の中高一貫の部分については、お互いがよくお話をされて進められており、すごくいいなと思いました。</p> <p>やはり、中だるみという怖い部分、それを両校の皆さんが、色々な部分をこういうふうに、ああいうふうに、ということから意見があり、話していただいたということは、すごく私自身も納得をして、聞き入って帰ったことでした。</p> <p>また、IBを導入、実施していくにはという話もありまして、この部分も大変、今後、統合することによって、どんなふうな感じでレベルがアップするのかというのが、まずは、南中高校でも西高校でも色々なお話もさせていただきまして、お互いすごくその部分についてしっかりつかんで、議論をされているなと思ひ、すごく感動しました。</p> <p>それと、須崎高校、須崎工業高校については、色々な部分を取り入れて、進学校であり、また就職でも他の学校に負けてない状況だと思います。</p> <p>その中でやはり、須崎工業に今ある造船の部分というのは、これは全国でもどこにもかなわないような施設をお持ちでして、私自身、これはやはり高知県の将来的には、しっかりと継続させていかなくてはならないと感じました。</p> <p>聞きますと、ある県外の方が、造船を学べる高校をつくるので、こちらからそちらへ流れていく可能性もあるとのことで、ぜひ、こういう部分を大事にして、伝統を継続してもらいたいと感じました。</p> <p>そこから色々な部分、やはり話し合いをしながら、やっていただきたいなという思いがすごくあります。</p>
委員	<p>私は、他の委員の先生方のように、きちんとしたことを言える自信がないので、ざっくりしたお話になりますが、私も4校を伺わせていただいて、それぞれの学校にそれぞれの匂いとか、雰囲気とかってというのがあって、それが違って面白いなと思ったことと、あとは南中高校と西高校、それから須崎高校と須崎工業高校、それぞれに学校が統合となって、今の学校からこちらの学校に移るといふ、それぞれに移る側の学校の教員や生徒の戸惑いや不安もあるのかなと感じました。</p> <p>一方、受け入れる側も、それに対する責任と、やはり受け入れ側としての不安感と、それから高揚感みたいなものがあって、それぞれの立場で雰囲気とか、学校側の受け取り方も、少しずつ違っているというところが感じられました。</p> <p>ですがどちらにしても、これから統合まで、それぞれの学校がどういうふうな行き方で、次の新しいステップに進んでいく</p>

<p>委員</p>	<p>のかなっていうところに、課題を持っておられるということが、やはり私たちも、それから保護者の方も、そこをしっかりと見守って、次のステップまでを気持ちで繋いでいけるような、何か、見つめる目線が必要だということを感じました。</p> <p>学校現場に行ってみて、それぞれの学校の雰囲気というのがよく分かりまして、とてもよかったなと思います。ありがとうございました。</p> <p>もう皆様がいろんなことをおっしゃったので、私もまったく感想は同じなのですが、本当にどの学校に行っても、子どもたちが大変元気で、活発に活動している様子というのが伝わってきました、本当に統合して子どもたちが楽しく学べる、充実した学校生活を送れる場にしていかなくてはいけないのだなということ、ひしひしと感じまして、この委員会の使命の重さというのを感じたところでした。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんから色々ご意見、ご感想をいただきましたけども、まとめるわけではないのですが、私の方からも一言申し上げたいと思います。</p> <p>まず今、委員からもお話がありましたように、私は4校の生徒を見て、彼らのために、あるいは彼らの後輩のために、私たちはやるんだという意識を再確認したということで、意味があったなというふうに思っております。</p> <p>非常に素直で明るくて、礼儀正しい生徒が揃っている4校ということで、それぞれ2校ずつが統合して、新しい高校をつくるという未来に、非常に希望が持てるというふうに思ったのが一つであります。</p> <p>それから二つ目は、各校の教職員の方々が大変熱心であるということです。</p> <p>特に校長先生は、激務の中で統合について、本当に真摯に向き合ってお考えいただいております、なおかつ、教諭の先生方の不安とか将来に対する希望とか、そういうものに対して非常に細かく対応されているなと感じました。</p> <p>そういうことで、統合した後、その先生方全員が、その統合校に残るとは思いませんが、何割かの先生は残られると思いますので、新しい統合校での教育について、今の熱い想いを続けていただければ、素晴らしい高校ができるというふうに思った次第です。</p> <p>それから三番目に、各学校、やはり卒業生、PTAが、非常にパワフルにいろんな寄付をされて、設備を整えたり美化に貢献したりしている部分を拝見いたしました。</p> <p>やはり、卒業生、PTAの方々の想いというのは、私もそういう時代を過ごした一人ですので、大変熱く思えるところがございました。ぜひ、この熱き想いを、先ほどもお話しましたが、統合完成まで、それから統合後の学校の発展のために、ぜひご尽力いただければというふうに思った次第です。</p> <p>最後に、こんなことを言うと怒られるかもしれませんが、そういうことをまとめますと、やはり今後のことについて、学校の設備の改修だとか、そういうものについて、予算が伴うことで大変なこととは思いますが、県教育委員会もぜひ最大限の努力をして、皆さんの期待している新しい学びの場を整備</p>

	<p>していただけたらと、そういうふう感じた次第です。</p> <p>他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>大変、勉強になりました。そして、単に名前をどうやって決めるかという話ではなく、やはり高知県の高校教育、あるいは中高一貫教育をどういうふうにするかという、一端に触れることができたことだけでも、多分委員の皆さんは幸せなことだというふうに、それからまた、責任が重大だとお考えだと思います。</p> <p>他にないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p>
--	---

### 【公募の実施方法等に関する協議】

会長	<p>次に、次第の「(3) 公募の実施方法等に関する協議」に移りたいと思います。</p> <p>前回の第3回検討委員会、議事録が添付されておりますが、前回、一定の協議をいたしました、その内容や対応策について、まず事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画監	<p>前回議論いただきましたものを受けまして、まとめましたので、資料2をお開けください。</p> <p>いただいた意見につきましては、「委員の主な意見」というふうに右欄に記載してございます。それを受けて、「校名候補を公募する具体的な案」ということで、委員の意見を取りまとめております。</p> <p>上から順番にご説明させていただきます。</p> <p>①応募資格のところでございますけれど、一番上の一人の応募数については、理由を明記してもらうのに、一人複数の案を出すということは理由が矛盾する。それから、一番良いと思う案を1案出してもらいたい、といったご意見がございましたので、一人1案のみの応募ということにまとめております。</p> <p>次の、対象範囲及び国籍、年齢は制限なし、というご意見であったと思います。</p> <p>それから、次の②の応募方法の一番上でございます、応募用紙については、応募用紙を定めることが必要であると。また、その応募用紙を高等学校課のホームページからダウンロードできるように、というご意見がございましたので、そのように準備したいと考えております。</p> <p>それから、応募用紙の提出方法としましては、一つは、高等学校課のホームページに、応募するための「専用フォーム」といったものを構えまして、それに入力していただければ、送信できるという手法を検討したいと考えております。</p> <p>その他には、当課のホームページからダウンロードした応募用紙を、電子メールで送信するということとか、または紙ベースで提出したいという方には、後ほどご説明いたします方法で、応募用紙を入手いただき、郵送、FAXで提出していただきます。</p> <p>それから、応募用紙を持参したいという場合は、委員からご意見いただきましたように、管理責任の面から、高等学校課のみで受付可能というふうにしたいと考えております。</p> <p>その他に、郵送する場合、返信用封筒の準備をする必要がございますが、そういったことを、応募する方が応募しやすく、</p>



負担がかからないような工夫も検討したいと考えております。

それから、対象外の提出方法につきましては、「上記以外の提出は受付けない」と明記することにしております。

その他、応募に際しての個人情報の取扱いとしましては、「個人情報については、適切に管理し、この目的以外には使用しないこと」と明記をすること。

それから次に、応募用紙の記載内容としまして、③、④の校名候補の校名、読み方、由来・理由は記載すること。

それから、⑤の応募する方の名前、年齢、住所は記載。性別、電話番号は記載しないこと。

それから、⑥の募集期間は30日。

それから、資料2の4ページ、裏に移っていただきまして、⑦の募集の周知方法は、県教育委員会のホームページのほか、県内の広報としましては、ご意見にもございました県の広報誌である「さんSUN高知」の県内版に掲載。

それから、報道機関には県政記者クラブというものがございます。そこに加盟しております、新聞・テレビの12社に取材や掲載依頼を行う。

それから、県外にも広くピーアールするようというご意見がございました。それにつきましては、予算の制約もございませので、今考えておる可能なものとしましては、「さんSUN高知」の県外版に掲載すること。

それから、色々調べましたが、「公募ガイド」という、ホームページ上で各種の公募を行っているサイト、日本で一番大きいと聞いておりますが、そこに無料で掲載できるという手法がございませので、そういったことも考えております。

次に、ホームページを見られない方にも配慮してほしいという、前回の委員のご意見を受けまして、紙媒体による募集要項、それから、それに付属します応募用紙を備えます。

それから、⑪の参考資料を設置する場所としまして、県の福祉保健所など出先機関の5カ所、それから県庁本庁舎の県民室、それから西庁舎にございます高等学校課と合わせまして7カ所に備えますことで、直接取りに来る方への対応としたいと考えております。

それから、⑧の公募結果の公表につきましては、高等学校課のホームページ、それからマスコミを通じて、広く行いたいと思っております。

⑨の応募結果の数の取扱いに関する記載は、前回ご議論いただきましたように、「校名候補の選定においては、応募多数の名称が選ばれるとは限らない」と明記。

それから、⑩の校名候補の扱いとしては、「応募いただいた校名候補を参考にして、検討委員会が、校名候補（複数の場合を含む）を決定します」。また、「検討委員会で決定した校名候補を県教育委員会に報告」、それから、「県教育委員会で校名を決定」というふうに明記いたします。

⑪意見を聴く際の参考資料としまして、新中高一貫教育校、高吾地域拠点校、それぞれ参考資料1-1、2-1としまして統合後の新しい姿、それから参考資料1-2、2-2にございます学校像、というのは前回もお示しした資料でございます。

それに加えて、会長の方から、何か他にもあればというご指示もございましたので、事務局の方で準備できるものとし

まして、今付けておりますような学校のパンフレットを考えております。

新中高一貫教育校につきましては、現物は、委員の皆様は見開きのカラーになっております。傍聴の皆様は、先ほど司会から説明がありましたように、白黒のA3縮小で非常に見づらくなっております、申し訳ございません。そういったパンフレットを今作成中であり、完成したものを付けたいと考えております。

こうしたこともあり、前回示しましたパース図という完成予想図もこの中に含んでおりますので、そこは、これに合わせて、この1枚に含まれるということを考えております。

それから、高吾地域のパンフレットにつきましては、中学校の学校説明会用に昨年度末に作成しておりましたので、それをもって学校のパンフレットということにしたかどうかと考えております。

それから、新中高一貫教育校のパンフレットの中に、大きく「作成中」という部分がかかり入っております。これにつきましては、新しい学校の特色となります、国際バカロレアについて説明したいというふうに考えておりますが、国際バカロレアを所管します国際バカロレア機構というところがございます。まだ認定校にもなっておりませんので、表記の仕方について、今協議を重ねております。そういったことが整いましたら、完成版を参考資料として添付したいと考えております。

次に、⑫の実施機関としましては、高知県立学校の校名に関する検討委員会。

それから、⑬の提出先としましては、高等学校課再編振興室ということですが。

以上が、前回の会議で委員の皆様にご意見をもち、事務局で取りまとめました案となっております。ご確認いただきまして、ご意見があればお願いいたします。

会長

前回の委員会での皆様のご意見を全部メモしたものをもち、大変重要な事項ですので、事務局でまとめていただいたものですが、これについて何か、ここは間違っているのではないかと、こういう表現の方がいいのではないかとかいうご意見がありましたら、お願いいたします。

会長

よろしいでしょうか。

委員

( はい )

会長

それでは、前回のこの検討委員会で出ました意見は、全部網羅されているということで、これをもとに次のステップに進みたいと思います。

今後のことを考えますと、今回決定した具体的な公募の実施方法に基づいて、事務局に準備をお願いしたいと思います。今回のこの資料2をもとに、募集要項、応募用紙などを作成していただきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

【その他・事務連絡等】

会長	<p>今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画監	<p>委員の皆様へ、本日ご協議いただきましたことを、具体的に「募集要項」というものに取りまとめさせていただきます。公募する際の大事な決め事としまして、文書で確認していただく必要がございます。</p> <p>併せまして、今後、公募に向けて具体的な準備を進めていくという中で、明確となってきます公募スケジュールも、併せてご提案させていただきます必要があると考えております。</p> <p>そこで、こうした内容を委員の皆様へ、紙ベースで正確にご確認いただくために、7月下旬から8月上旬の間で、改めて日程調整をさせていただきます。検討委員会を開催させていただきますというふうに考えております。</p> <p>そして、その検討委員会で、「募集要項」、「公募スケジュール」、などにつきましてご確認いただき、ご了承いただいた後に、公募実施の手続きに入らせていただきたいというふうに考えております。以上です。</p>
会長	<p>ただ今のスケジュールについて、何かご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど、日程調整ということでしたが、ここで応募の周知方法で、「さんSUN高知」に掲載、それはいつごろを考えられていて、どのようなレベルまでここに記載されて、どういうことになるのかなというのを、もう少し知りたいなと思いましたが説明いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>「さんSUN高知」の県外版は、どのような人に配っているのでしょうか。</p>
企画監	<p>委員のご質問で「さんSUN高知」はいつごろかとありましたが、次の会の日程にもよりますけれども、7月下旬から8月上旬に開催するというを受けて、その会議で公募する際の募集要項ですとか、そういったものが決まります。</p> <p>それを受けた後に、「さんSUN高知」への掲載内容を確定しなくては行けませんので、そういったことを考えますと、8月号に掲載する締め切りは、もう過ぎておりますので、それ以降かなというふうに考えます。</p> <p>それから、どのレベルかということですが、先ほど色々説明させていただいた中身を集約したものと考えております。応募内容がまずは要りますし、それから、それぞれの学校に対する意見をくださる方に、イメージなど、教育内容なども一定知っていただかないといけませんので、例えばですけど、学校のパス図といいますか完成予想図があって、それぞれの教育目標があるといったような内容になろうと考えております。</p> <p>単なる、いつからいつまでです、ご意見を出してくださいの3行ではなくて、1ページ全部取れるかどうかは、協議してみないと分かりませんが、できましたら、1ページ近くくらいの紙面を予定したいと思っております。</p>

	<p>それから、スケジュール的には、先ほど申しましたように、9月になるのではないかと思います。</p> <p>池委員からご質問がありました、県外版はどういったところに配布されておられるのかというご質問でございますが、大体部数としましては、県内版は約35万部、県内全戸に配布いたします。それから、県外版につきましては、約5,300部を配布と聞いております。</p> <p>配布先としましては、各県にございます県人会と申しますか、そういった組織団体といったもの。それから、例えば大阪には応援団という方々がいらっしゃいます。そういった高知を応援してくれている方々ですとか、そういったところに配布するということです。</p> <p>県人会を県レベルでもっているところもありますし、市町村ごとでもっているところもあります。そういった高知の出身の方、もしくは、高知を応援してくれる方といった方が多いというふうに聞いております。</p>
委員	<p>前回会議で、ダウンロードできない人のために、紙媒体の応募用紙も置いてもらいたいということで、応募したいと思う方は、どこかに取りに行かないといけないということになると思うのですが。</p> <p>例えば、今さらですが、「さんSUN高知」とかに、例えば、校名公募実施の部分に応募用紙を載せ、切り取って送ってもらうような形にはできないものかなと思いました。</p> <p>思いつきで申し訳ありませんが、なんかその方がもっと皆さんに参加してもらいやすいのではないかなとも思うのですが、検討してみてください。</p>
会長	<p>素人目からしますと、35万部にその仕組みをやるというのは、かなり今からでは難しいのではないかと思います。</p>
委員	<p>ページの中の公募の説明の横に、応募用紙のはがきで切ってぱっと送れるようなものです。これなら便利だし、参加をたくさんお願いする側としては、そういう方法は取れないのかなと一瞬思いました。</p>
教育長	<p>次回、どういう形で「さんSUN高知」へ掲載するかの内容も含めて説明したいと思います。</p> <p>その際に、担当部署もありますので、お話のあったようなことが可能なかどうかどうなのかも含めて、十分検討させていただいて、次回でこういう形でという具体的な内容を説明できたらと思います。検討はさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>周知方法と関連するのかもしれませんが、子どもたちも応募可能ということで、できれば小学校、中学校の方にも別途通知をしていただいて、新しい学校に対する期待感を高められるような手立てを取れないのかなと、そんなに思いました。</p> <p>もちろん、「さんSUN高知」を全戸に配られるわけですが、小学校、中学校の方から、こういう取組があるよということを一言言うだけでも、ずいぶん違うと思いますし、また教職員にもそういう認識を持ってもらいたい。新しい学校ができるとい</p>

	<p>うことを、きちんと理解したうえで、できれば教職員も応募できたらいいと思っております。</p> <p>そういうふうに盛り上がり、ぜひ実現していただきたいなと思っております。</p>
企画監	<p>そういうご意見も含めまして、次回までに検討させていただいて、またその場でご協議いただきたいと思います。</p>
委員	<p>広報の仕方の関係になるかも分かりません。この中身がよく分かる資料が当然必要ですが、あまりにも細かくてたくさんあって、文字もたくさんのは、ほとんど読んでもらえないと思います。</p> <p>ですから、その特徴を、本当に読んでいただけるような形にして、詳細は二段階目でどこか、ホームページか何かで見てくださいというような形で、多くの方に読んでいただけるような、ぜひ工夫をして、次回の時にお示しいただいたらありがたいなと思っております。</p>
企画監	<p>分かりました。そういったご意見を踏まえまして、また検討させていただきます。</p>
委員	<p>すみません、少し元へ戻りますが、このいただいた資料の中に、私がいまいち分かってないからと思うんですけど、ここに写真が一つありますが、この新中高一貫教育校のパンフレットの裏側のところに、「あなた自身の気づきや疑問を大切にします！」と書いてあるところの写真、この写真は何の写真ですか。</p>
企画監	<p>すみません、分かりにくい写真で。地球儀に子どもさんが手を当てている写真です。</p> <p>これはまだイメージでございまして、印刷業者が実際は別のものに替えると思います。素人で作ったものでございまして、分かりにくうございます。申し訳ありません。</p>
会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>( はい )</p>
会長	<p>それでは、先ほど事務局からも話がありましたけれども、今回の公募は、県民の意見を聴くという具体的方法になりますので、慎重かつ丁寧に進めていきたいということで、事務局から相談があった時に、7月下旬から8月上旬にもう一回会議を開催し、念には念を押した方がいいというふうに、私の方でも判断をいたしまして、委員の皆さんの貴重な時間をまた割いていただくのは、大変心苦しいのですが、ぜひご了承いただきたいと思っております。</p> <p>本日、このまとめたものでもまだ不十分で、皆さんの意見がありましたので、次回でファイナライズする。その時に、本当に良いものをつくり出して、県民から意見をいただくような形にしたいと思っておりますので、皆さん、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、公募についての確認、特に募集要項、応募用紙に</p>

委員	<p>ついて準備していただいて、本日の意見も踏まえた対応策をご提案いただきたいと思います。</p> <p>なお、委員の皆様からご同意をいただきましたので、事務局では、日程調整の方をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、一応次第のことは全て終わったわけですが、何か委員の皆様から他に何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>( はい )</p>
会長	<p>本日の協議事項は、以上で終了となります。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>

### 【閉会】

司会	<p>会長、会の進行、ありがとうございました。また、委員の皆様方、積極的なご協議をありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第4回高知県立学校の校名に関する検討委員会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>
----	---